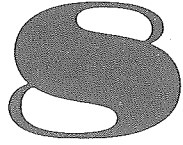


SHIRAKOBATO

しらこぼと

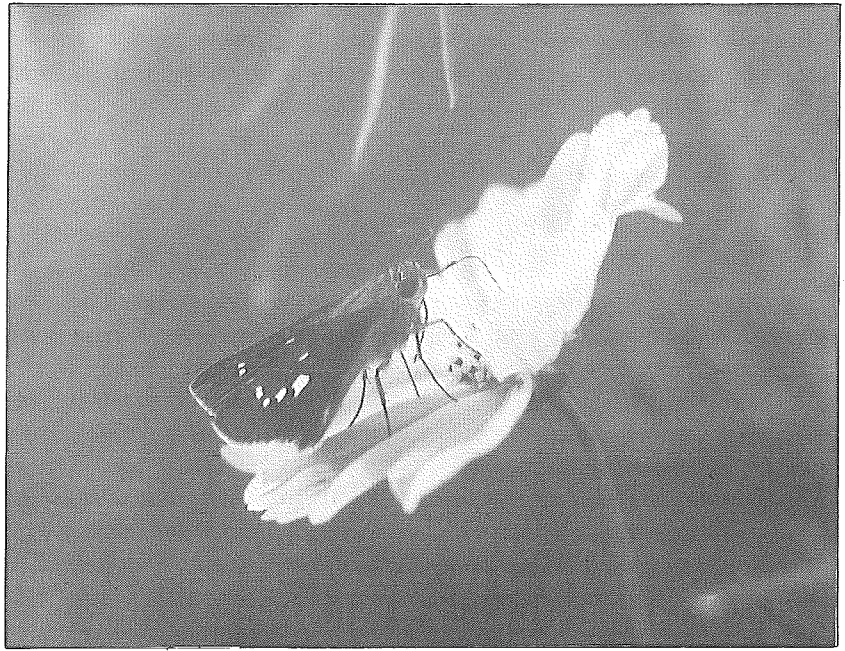


1991.



SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 87

日本野鳥の会 埼玉県支部

支部総会報告

6月30日(日)に開催された支部総会は、本部総務部猪沢則子さんをゲストに迎え、故田村照治顧問にささげる黙祷から始まりました。活発な議論を経て、平成2年度決算と事業報告、3年度予算案と事業計画案が原案通り承認され、私たちはまた新たな1年を歩み出したのです。

ヤジウマA 結局今年も会費は値上げしないですんだのですね。

マジメ幹事B そうです。会員数が目標を上まわる増加率で、会費収入が増えたこと、事業部ががんばって目標を大きく上まわる売上げをあげたことなどと、出るほうの経費節減にも努力して、何とか今年度も会費値上げしないで予算編成ができました。

A 今年は女性の来賓でしたが、支部長の希望ですか。

B いえ、今までは本部の専務理事や常務理事、各部の部長クラスを招いていたのですが、今度は中堅クラスの職員と支部会員たちとの接触の機会を設けたかったのです。

A それにしても、皆さん結構まじめにいろいろ議論していましたね。

B 何しろ支部活動の基本を決めるわけですからね。懇親会でも議論百出。にぎやかですね。

司	会	町田好一郎
開	会	挨拶 鈴木忠雄支部長
来	賓	挨拶 猪沢則子本部総務部
議	長	北川慎一
書	記	杉本秀樹
議	事	録 署名 福井恒人 草間和子
議	案	説明 海老原美夫専務局長
閉	会	挨拶 松井昭吾副支部長

3年度役員

支部長 鈴木忠雄(熊谷市)
副支部長 松井昭吾(大宮市)

幹事 石井幸男(川越市)

伊藤芳晴(浦和市)

榎本秀和(鴻巣市)

岡安征也(北本市)

笠原伸子(浦和市)

北川慎一(上尾市)

草間和子(浦和市)

黒田佳子(新座市)

小荷田行男(浦和市)

小林みどり(藤沢市)

佐久間博文(川越市)

杉本秀樹(杉並区)

諏訪隆久(熊谷市)

田口浩司(浦和市)

手塚正義(川口市)

登坂久雄(八王子市)

内藤義雄(鴻巣市)

中島康夫(蓮田市)

乗田実(上尾市)

長谷部謙二(川越市)

林 滋(美里町)

菱沼一充(熊谷市)

福井恒人(浦和市)

藤原寛治(浦和市)

町田好一郎(本庄市)

三田長久(狭山市)

森本國夫(熊谷市)

山部直喜(越谷市)

吉原俊雄(北本市)

渡辺周司(大宮市)

監事 石川敏男(春日部市)

楠見邦博(浦和市)

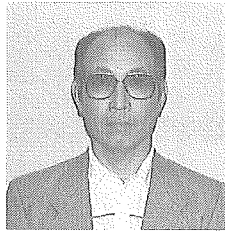


(左から)松井・鈴木・猪沢・町田の各氏

新役員紹介

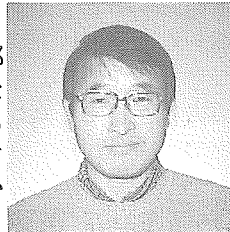
石井幸男(川越市)

草木の緑多く、野鳥の影也多し。足元の水は清く流れ、遊ぶ魚の影も楽し。このような環境を求めて各地の探鳥会に参加し、数多くの鳥たちとの出会い、人との出会い。年令・性別・職業の別なし。このような人々の集まりを私は好きです。



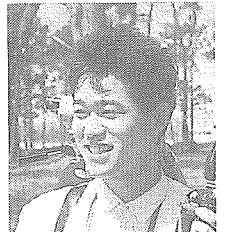
佐久間博文(川越市)

今度何かの拍子で支部の役員を受けることになりましたが、鳥のこともよく分からず、未熟ですが、自分でできることからぼちぼちやっていこうと思っていますので、今後もよろしくお願ひします。



田口浩司(浦和市)

野鳥の会に入会して3年目。最近では弁当だけを持っての探鳥会参加が増えてきた。のんびりとしたピクニック気分です。自然に接する、そんなゆとりを皆さんにも感じていただくよう、がんばります。



内藤義雄(鴻巣市)

吉見の探鳥会に参加して以来「見始めたらやめられなくなってしまった」ひとりです。働くだけ(?)の単線型人間も、鳥と多くの鳥見人のおかげで複線型人間に換羽中です。もっと多くの人に、この楽しみを広げたい。



菱沼一充(熊谷市)

18ヵ月目に早くも初幕の花田兄弟の兄です。弟の貴花田(家内?)と2人でやっと一人前ですが、三役目指してがんばります!



三田長久(狭山市)

人間のエネルギー過剰消費は自然破壊の主要因です。1日2400キロカロリーで生きるべく、ビールも飲まず、自転車と徒歩で身近な自然観察を続けています。横須賀市でのコマドリ初認等、神奈川県と埼玉県で活躍中。



吉原俊雄(北本市)

2~4月の探鳥会で、クシャミをして鳥を追い払ってしまうのは、私です。大事な時に限って、特に大きなクシャミをします。昨年からは、9~10月もクシャミが出るようになりました。ご迷惑ですが、おゆるしてください。



2年度決算と3年度予算 収入の部

項目	2年度決算	3年度予算
期首繰越金	2,713,791	2,499,926
会費収入	2,528,550	3,000,000
寄付金収入	283,762	300,000
探鳥会等参加費	186,413	200,000
指導謝礼金	13,100	0
雑収入	90,629	50,000
補助金	400,000	200,000
事業部売上金額	2,612,986	2,000,000
合計	8,829,231	8,249,926

支出の部

項目	2年度決算	3年度予算
什器備品費	620,062	1,000,000
消耗品費	47,438	50,000
支部報印刷費	1,049,700	1,500,000
支部報発送料	560,979	700,000
印刷コピー代	428,602	400,000
通信費	151,881	200,000
交際接待費	18,235	0
雑費	159,456	180,000
家賃	940,300	870,000
水道光熱費	47,049	50,000
総務部費用	116,652	110,000
普及部費用	70,014	110,000
編集部費用	36,060	40,000
研究部費用	0	30,000
事業部費用	7,321	20,000
仮払金	28,264	0
事業部仕入額	2,047,292	1,600,000
期末繰越金	2,499,926	1,389,926
合計	8,829,231	8,249,926

地鳴きコーナー

夏至のおかげ

浅田徳次（白岡町）

6月22日（土）は夏至でした。そして朝から雨降りでした。

私どもの事業所は外作業が多いので、一番年寄の私だけ、その日休みにしてくれました。一日中ゆっくりくつろいでいると、夕方6時ころ、従業員の若いT君がダンボール箱を持って私の自宅にやって来ました。現場から車庫に帰ってくると、栗の木のくもの巣に小鳥がひっかかって動けなくなっていたので、私なら助けるだろうと、3km離れた私のところに持ってきたとのことでした。

見ると子ツバメでした。私はちょっとためられました。一応野鳥の会のリーダーとして登録されている様ですが名ばかりで、ましてや、今にも死にそうな小鳥の介抱なんてどうしようと思いました。しかし、何とかしなくては間もなく死んでしまうと思い、一生懸命、からみついたくもの糸を、羽や体の中、足から、少しずつついでにねいに取りました。

くもの糸も、幾重にもからむと、ナイロン糸の様に丈夫で、べとべとして、なかなか取れません。30分ぐらいかかって、やっと取れたようです。放すと、家の中を飛んでくれました。もう大丈夫だから、早くもとのところに持って行って放してやってくれとT君に渡したのが、7時少し前、まだ明るいうちでした。

その日が夏至だったのと、T君たちがいつもより早く帰ってきたので見つけられたが、もし暗くなっていたら、その子ツバメはT君たちに発見されずに終わつたろうと思うと、その日が昼が一番長い日で良かったなあ、つくづく思った次第です。

T君は、その子ツバメは、南の田んぼに向かって、すいすい飛んで行ったと、後で話してくれました。

俺もなかなかやるなあ、もしかして獣医になれるかも。またまた持病の自信過剰症におちいつているところです。

今年は11羽巣立ちました

小山則雄・啓子（大宮市）

昨年の5月15日に10羽のシジュウカラのヒナが巣立った我が家の巣箱に、今年も仲良く夫婦がやって来て、大事に子育てをして、3日遅れの5月18日（土）に、何と昨年より1羽多い11羽のヒナが巣立っていきました。

朝から羽をバタバタさせたり、身体を乗り出したりして、8時半から9時25分までの間に次々巣立ちました。家庭用のビデオカメラで写すことができました。

はじめてお便りします

浅見健一（大宮市）

5月から会員になり、自宅付近にて『山野の鳥』『水辺の鳥』片手に、鳥たちとの出会いを楽しんでいます。

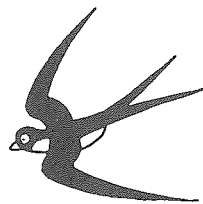
こちらが気がつかなかっただけで、少し目を向けると、多くの鳥たちに会え、感激しております。はじめての探鳥で出会ったハクセキレイ、カワラヒワ、いつまでも忘れないでしょう。

まだまだ勉強不足、名前の分からない鳥たちがたくさんありますが、最近出会った鳥をご報告します。

カッコウ 6月2日午前11時半ころ、大宮市大成2丁目普門院脇電線で、尾を水平に振りながら鳴いていました。

マミジロツメナガセキレイ？ 6月9日12時10分ころ、大宮市堀の内第2グラウンドで2羽、落ち着きなく移動していましたが、ハクセキレイの幼鳥でしょうか？

キジ 7月6日午前10時40分ころ、大宮市三橋1丁目の鴨川わきでカルガモを観察中、突然草むらから姿を見せてくれました。



ハマシギの行動観察

三田長久 (狭山市)

私のフィールド、狭山市の入間川では、毎年 150～200羽のハマシギが越冬します。

このハマシギが休んでいるときはほとんど片足でたっており、よくあれで疲れないものだなあとか、やはり足を変えたりするのかななどと思っていました。そこで、3年前から毎年来ているカラーリングをした個体の行動を調べてみました。

よく晴れたある春の朝、10時から11時までの1時間の行動を観察し、片足(左右)で休む、うずくまる、採餌する、団体飛行、の5種類に整理して、図に示しました。

この時間帯はほとんど休憩で、左足で立っ

ている割合が一番多いという結果が出ました。じっと休んでいる途中で足を変えたりということはなく、少し歩いたりした後で片足になる時に、違う足にするという具合でした。

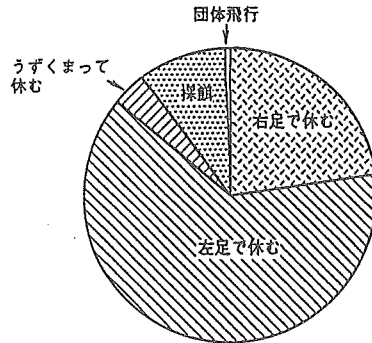


図 ハマシギの昼間1時間の行動割合

さえずりコーナー

昆虫採集必要論

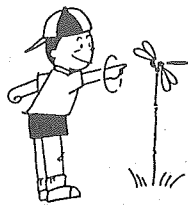
中村 治 (上福岡市)

『野鳥』誌7月号38ページのコラム自然保護に対して一言。さえずりコーナーもあることだし、たまにはホオジロのごとく一筆啓上仕り候。

同コラムの「昆虫採集復活論に対する反対論」をまとめると、次のようになるだろう。

- ①昆虫採集は、珍しい標本を作ることだけのために取りつくし、絶滅に追いやる。
- ②教育的効果が高いというが、外国で違法採集をしている昆虫採集は教育的とはいえない。また、趣味で昆虫採集を一生続けたり、標本を高値で売買するようになるのが、教育的効果があるといえるのだろうか。
- ③現在はきれいな図鑑やテレビもあり、それらによって生命の大切さを知ることができる。

一見もっともなことを言っているようだが、どうもおかしい。まず、本当に昆虫の好きな人が違法採集をしたり、絶滅に追いやるようなことをするだろうか。それならば野鳥マニア(バードウォッチャー)だってワシやタカの剥製を取り引きしたり、写真を撮るために



巣の周りを荒らしているのではないか。

同じ様に、本当の(正統派)昆虫マニアならば、自分だけではなく、他の人たち、そして未来の子供たちがいつまでも楽しめる様に、種を残そうとするだろう。それが、復元力の大きな昆虫なればこそできるのである。そして、採集の目的は、標本を作って自己満足を得るものではなく、自然と触れ合うということではないだろうか。

そこで、昆虫採集に教育的効果があるのかどうか問題になるのだが、教育のための採集とは、なにも虫を殺すことだけではあるまい。獲った昆虫を自分で飼育したり、あるいは観察した後で放すということも含まれるだろう。昆虫に直に触ることを通じて自然を理解し、そして昆虫あるいは動物を人間のエゴのために殺すことがない様にするのが教育の目的である。確かに図鑑や映像から知識は得られるが、それは必ずしも理解とはならない。理解するには、知識だけではなく、経験も必要だからである。子供たちが虫を捕まえば、当然殺すこともある。しかし、そうした経験によって、自然について、生命の尊さについて学ぶのではないだろうか。

ここまで書いておきながら、私は、昆虫採集そのものに賛成しているわけではない。反対する気持ちも良く分かる。しかし、それと同時に、その必要性を認めているだけである。

野鳥情報

- カイツブリ** ◇5月28日、深谷市の上武大橋下流で親子を観察（井上幹夫）。
- ヨシゴイ** ◇5月23日、幸手市戸島で1羽（秋間利夫）。
- ゴイサギ** ◇6月8日、朝霞市の黒目川、岡橋下流で成鳥2羽、幼鳥2羽（二村英克）。
- ササゴイ** ◇5月15日、戸田市道満で1羽（二村英克）。◇6月12日、浦和市秋ヶ瀬B区で1羽（福井 巨）。
- ヨシガモ** ◇5月29日、戸田市道満貯水池で♂♀各1羽（高橋達也）。
- サシバ** ◇5月24日、幸手市木立で1羽（秋間利夫）。
- ヒクイナ** ◇6月12日、浦和市秋ヶ瀬B区で鳴き声を聞く（福井 巨）。
- タマシギ** ◇5月23日、幸手市戸島で鳴き声を聞く（秋間利夫）。◇6月1日午後4時30分、坂戸市入西の湿地で、色鮮やかな♀1羽（増尾 隆・節子）。
- コチドリ** ◇6月8日、戸田市道満で1羽。道路上に巣を作っていた。卵の数は4個。6月15日に、この巣の写真を撮ろうと行ったら、砂利が敷きつめてあり、巣は砂利の下に埋もれてしまっていた（二村英克）。◇6月11日、志木市の柳瀬川、高橋下流で親鳥1羽、ヒナ2羽。ヒナ2羽が親の後を追いかけてまわしていた（二村英克）。



ハジロクロハラアジサシ
(井上幹夫)

- ムナグロ** ◇5月8日、大宮市蓮田新田で1羽。見沼用水の土手より用水草やぶへ（渡邊光行）。
- ツバメチドリ** ◇6月8日午前7時頃、本庄市の阪東大橋下流の中州で「ヒナ」1羽。親鳥から口移しでエサをもらい、何やらついばんでいた。これで、当地で連続8年繁殖が確認された。8mmビデオで何とか撮影する（町田好一郎）。
- クロハラアジサシ?** ◇5月27日午後0時30分頃、本庄市の阪東大橋下流で1羽。ハジロクロハラアジサシとペアでフライト。頭が黒で頬が白。くちばしは赤で腹がグレーの夏羽。足の色は、確認できなかったが、尾羽はグレーに見えた。本日は、アジサシデー！（町田好一郎）。
- アジサシ** ◇5月25日午後4時30分頃、本庄市の阪東大橋下流で2羽。コアジサシ約70羽と乱舞。中州を見ると「イタチ」がチョロチョロ。納得！きっとヒナをねらってきたんだな（町田好一郎）。◇6月15日、戸田市道満で2羽（二村英克）。
- コアジサシ** ◇6月15日、戸田市道満で約30羽。バイクを止めて、眺めていたらいきなり襲いかかってきた。目の前1メートル程で急上昇。近くに営巣地があった（二村英克）。
- カッコウ** ◇5月21日午前6時50分、桶川市鴨川2丁目で1羽。大きなシラカシの先で大声を上げて「カッコウ、カッコウ」と鳴いていた（立岩恒久）。◇5月24日、幸手市戸島で1羽（秋間利夫）。◇6月3日、桶川市若宮の自宅の窓の外。雨の中、私と同じ目の高さで、鳴きながら飛んで行った（立岩恒久）。
- ホトトギス** ◇5月26日午後10時55分、鴻巣市大間1丁目の自宅付近を鳴きながら通過（榎本秀和）。◇6月5日、荒川村寺沢で1羽。鳴き声を口笛で真似して挨拶してみたが、知らん顔して飛んで行った（海老原美夫）。
- アオバズク** ◇5月25日、上尾市の神社の大ケヤキに今年も姿を見せてくれました。昼間は、ほとんどお休みで、時々金色の目を

ギョロつかせていた（立岩恒久）。

ヨタカ ◇6月10日午後7時20分頃、大宮市蓮沼の自宅近くの林で約30分間鳴く（山内二郎）。

カフセミ ◇5月25日、栗橋町狐塚の内池で2羽（秋間利夫）。

アオゲラ ◇6月8日、朝霞市の東円寺で♀1羽。前庭の中央にあるセンダンの木に巣を作っていた。11日には、巣は完成していた（二村英克）。

コゲラ ◇5月24日午前6時40分、桶川市井戸木の植木畑で1羽。「カラーン、カラーン」と植木の竹支柱をドラミングしていた（立岩恒久）。◇6月5日、荒川村寺沢で。小さな木製の電柱のてっぺんのトタン製のキャップをつついてドラミング。軽快な音。村のジャズ（海老原美夫）。

イワツバメ（部分白化） ◇6月9日、熊谷市月見町で電線にとまったイワツバメ5羽中に頭の白い個体が1羽。隣の1羽に頭をつつかれていた（菱沼一充）。

ハクセキレイ ◇6月11日、与野市の鈴谷小学校のプールで繁殖。ヒナ4羽を確認する（石井 智）。

ヤブサメ 5月30日、長瀨町の宝登山で鳴き声を聞く（石井 智）。

コヨシキリ ◇6月12日、浦和市秋ヶ瀬B区で。複数のアシ原でさえぎっているのを見かけた。ただ、同時に見ることはなかったので、♂は1羽なのかもしれない（福井 亘）。

センダイムシクイ ◇5月30日、長瀨町の宝登山で鳴き声を聞く（石井 智）。

キビタキ ◇6月5日、荒川村寺沢で1羽。鳴き声を口笛で真似して挨拶したら、こちらは近くによってきた（海老原美夫）。



シジュウカラ ◇5月、大滝村の我が家の物置の壁に営巢中。今年で3年目です（原田秀雄）。◇6月8日午前6時40分、上尾市泉台の小公園で、ヒナを連れた数家族？（約20羽のヒナと親）。群れをなしてチチチ…と遊んでいた（立岩恒久）。

メジロ ◇6月1日午前7時20分、桶川市若宮の自宅前のクスノキに巣立ったばかりのヒナが3羽。チチチ…とかわいい声を上げて親にえさをねだっていた（立岩恒久）。

カワラヒワ ◇6月13日、志木市の柳瀬川、日本レグリー工場内で親鳥2羽、ヒナ3羽仲良く並んでとまっていた（二村英克）。

イカル ◇5月25日、日高町の白銀平付近で2羽（森本國夫）。

コムクドリ ◇6月5日、秩父市上町の裁判所内の桜の木の巣穴に親鳥がえさを運び、ヒナの声が聞こえていた。同じ日、秩父市番場町の民家の梅の木でも。こちらは、孵化後間もないらしく、親鳥がえさを運んでいるが、ヒナの声は聞こえなかった（海老原美夫）。◇6月29日午後4時頃、浦和市秋ヶ瀬のゴルフ場の所で♂♀各4羽（佐久間博文、吉田喜代実）。

表紙の写真

1990 ネイチャーフォトコンテスト入選作

イチモンジセセリ（セセリチョウ科）

ピンクのコスモスに地味な茶色の虫。彼が蝶だと言ってもなかなか信じてもらえない。その名はイチモンジセセリ。立派な蝶である。

さらに、渡りをすると言えば、たいがい嘘

をついていると思われる。

人間になんか信じてもらわなくてもいい。ただ住みやすい環境を残しておいてくれればね。 9月上旬 50mm F2.8 × 2テレコン 1/250 秒 (渡辺 敦・羽村町)

行事あんない



熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：8月11日（日）

集合：午前9時20分 秩父鉄道大麻生駅前

交通：秩父鉄道熊谷9:00 発または寄居8:52 発に乗車

担当：諏訪隆久、岡安征也、林滋、町田好一郎、逸見嶮、関口善孝、諏訪夕香子、田口浩司、宮坂亨

見どころ：シギ・チドリが秋をはこんで来た。暑い暑い大麻生に、渡りの第一陣のキアシシギが、涼しさを届けてくれました。よく探せば、他にもいろいろ、涼しいモノが見つかりそう。季節の歩みは、ゆっくりと、確実に、進んでゆきます。

野鳥や自然の好きな方、どなたでも歓迎。

探鳥会への参加は、特別な場合を除いて予約申込みの必要はありません。受付は探鳥会当日です。参加費は一般100円、会員及び中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。小雨決行です。解散時刻は、特に記載のない場合、午後1時ごろになります。

◇フィールドマナー、いつも忘れないで◇

- ・鳥に近づきすぎたり、植物を採ったり荒らしたりしないように。細く長いおつきあいを。
- ・ゴミは、家まで持ち帰りましょう。

浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：8月18日（日）

集合：午前8時15分 京浜東北線北浦和駅東口（集合後、バスで現地へ）または、午前9時 浦和市立郷土博物館前

後援：浦和市立郷土博物館

担当：楠見邦博、福井恒人、渡辺周司、手塚正義、伊藤芳晴、笠原伸子

見どころ：家族そろって、自然に親しむチャンス。親子ともども、夏休みの宿題に悩まされる頃。家の中で頭をかかえていないで、三室の里の散策は、いかが？ 緑ゆたかな田園風景、身近な野鳥や植物など、絵や自由研究の題材がいっぱい。家族そろって、お出かけください。

会員制度

正会員 『野鳥』誌と『しらこぼと』の両方が毎月届きます。

年会費 6,000円 入会金 500円

普通会員 『しらこぼと』だけが届きます。

年会費 2,500円 入会金 500円

家族会員 『野鳥』誌や『しらこぼと』は正会員たちに届くものをごらんください。

年会費 500円 入会金なし

入会手続＝郵便振替用紙の通信欄に、会員の種別、住所、氏名、電話番号、生年月日、職業を書いて「東京 4-98389 (財)日本野鳥の会」にお送りください。自動引き落としの

制度もあります。

ジュニア会員 は、支部独自の制度で、中学生以下に『しらこぼと』だけが届きます。本部会員としては登録されません。

年会費 1,000円、入会金なし。

『野鳥』誌も読みたい人は、正会員として入会してください。高校生以上になったときは、あらためて正会員または普通会員として（入会金も払って）入会手続が必要です。入会手続＝郵便振替用紙の通信欄に、ジュニア会員として入会希望と、住所、氏名、電話番号、生年月日を書いて「東京9-121130 日本野鳥の会埼玉支部」にお送りください。

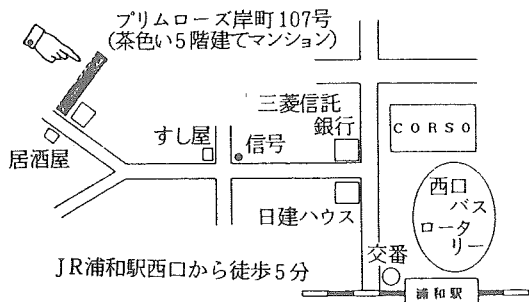
『しらこぼと』袋づめの会

とき：8月31日（土）午後1時～2時ごろ

会場：支部事務局（地図参照）

案内：熱気あふれる仲間たちが、せまい事務局に集まって、ワイワイガヤガヤ。いかにも暑苦しそうですねー、イヤですねー。でも、大丈夫。エアコンもあるし、扇風機もあるし、ウチワも、冷蔵庫もあるんです。だから、快適にお仕事できます。ホントだよ。

事務局は ここです！



野鳥写真クラブ定例会

とき：8月31日（土）午後2時ごろ～5時

会場：『しらこぼと』袋づめの会と同じ

案内：いちおう、《野鳥写真クラブ》という名前ですが、作品の対象は、鳥に限られません。植物や昆虫などの写真も大歓迎。あなたの感性がとらえた、自然のさまざまな表情を、事務局のスクリーンいっぱい広げてください。

第8回初級リーダー研修会

とき：9月1日（日）午前10時～午後4時

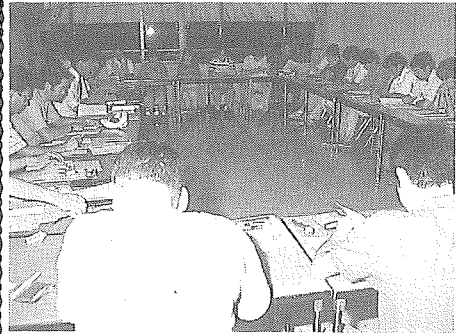
会場：浦和市民会館

申し込み：支部事務局または中島普及部長（TEL 〇〇〇〇）まで。

案内：「私、トリの名前覚えるのが苦手。ヒトの名前覚えるのは得意なのに。これじゃ、リーダーなんか、とても無理だわ」「歩く識別図鑑と呼ばれているボク。鳥のことなら、何でもOK。でも、人前で話すのはダメ。やっぱり、リーダーには向かないかなあ」・・・こん

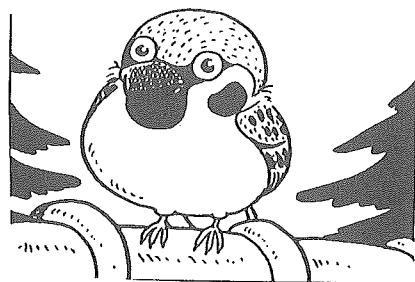
なふうになっている方が多いのでは？
1500人以上の会員を擁する当支部に必要なのは、型にはまったリーダーではありません。いろいろなタイプの方にお手伝いをお願いしたいのです。参加資格は、支部会員であること、そして、やる気があること、これだけです。さあ、あなたも、勇気を出して！

昨年のリーダー研修会風景



参加者は、新研修生12名を含む37名。高校生から熟年まで、みんな一緒に、より楽しい探鳥会めざして勉強しました。

- 9月7日（土） 多摩川河口探鳥会
- 9月8日（日） 大麻生定例探鳥会
谷津干潟探鳥会
- 9月15日（日） 三室地区定例探鳥会
- 9月22日（日） 鐘撞堂山探鳥会
- 9月23日（月） 秋ヶ瀬探鳥会
- 9月29日（日） 阪東大橋探鳥会
差間探鳥会

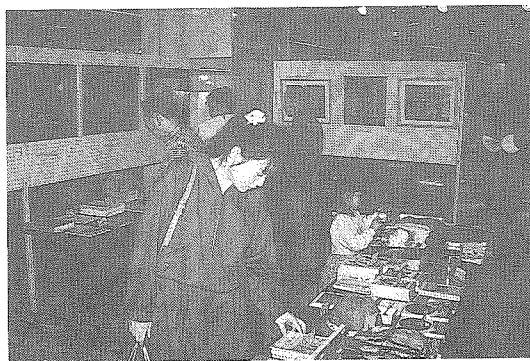


（比企 裕）

行事報告

4月29日(月、休) シギ・チドリ類一斉調査
ボランティア 荒木恒夫、石井智、海老原教子、金井祐二、渡辺達朗、杉本秀樹、鈴木啓紀、高橋達也、林滋、福井恒人、町田好一郎、三田長久(12人) 戸田市道満付近、狭山市の入間川、浦和市～大宮市の通称秋ヶ瀬地区、本庄市の阪東大橋付近で調査が行われました。結果は7月号のとおりです。皆さんご苦労さまでした。(研究部)

5月11日(土)～19日(日) 熊谷市 バードウィーク展「秩父・熊谷 鳥とけものたち」
ボランティア 海老原教子、海老原美夫、角田真喜子、草間和子、楠見邦博、楠見文子、杉浦準一、鈴木忠雄、関口善孝、田口浩司、塚本典子、林滋、菱沼一充、菱沼洋子、福井恒人、町田好一郎、森本國夫、山部直喜、秩父愛鳥会の皆さん、今回もたくさんの方々のご協力をいただきました。特に秩父の獣や鳥たちのすばらしい写真を見せてくれた丸山政弘さんと竹内寛至さん、宮崎章次会長、そのほかの秩父愛鳥会の皆さん、ありがとうございました。



5月12日(日) 熊谷市 大麻生
人 62人 **天気** 曇 **鳥** カワウ ダイサギ カルガモ キジ イカルチドリ ハマシギ

イソシギ コアジサシ キジバト ヒバリ ツバメ イワツバメ セグロセキレイ ヒヨドリ オオヨシキリ セッカ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボンガラス ハシブトガラス (24種) バードウィークの1日、参加者が60人を越えた。オオヨシキリやセッカのさえずり、コアジサシの涼しげなはばたきが、夏本番を思わせてくれた。先月に引続き工事中で、河原に降りられないのが残念だった。

(諏訪隆久)

5月12日(日) 北本市 石戸宿
人 19人 **天気** 曇 **鳥** コサギ カルガモ コジュケイ キジ バン コチドリ キジバト アオゲラ コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ウグイス オオヨシキリ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボンガラス ハシブトガラス (25種) 行く先々でキジの鳴き声の洗礼。白い花咲くニセアカシアの梢で夏の訪れを告げるオオヨシキリの珍しい姿。薄紫色した桐の花にうずもれて啼くホオジロも一幅の絵だった。ユリノキの黄色い花も満開。(岡安征也)

5月12日(日) 浦和市 秋ヶ瀬
人 44人 **天気** 曇 **鳥** カワウ ゴイサギ アマサギ ダイサギ チュウサギ コサギ カルガモ シマアジ コジュケイ キジ バン コチドリ ムナグロ ハマシギ タカブシギ キアシシギ チュウシャクシギ タシギ キジバト ヒバリ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ オオヨシキリ セッカ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボンガラス ハシブトガラス (32種) バンをじっくり見てスタートした探鳥会だったが、

キジがたくさん見られたのには皆ビックリ。シマアジもじっくり見られたが、負傷したのが羽根がおかしかった。(福井恒人)

5月19日(日) 浦和市 三室地区

人 55人 天気 曇 鳥 カワウ コサギ
カルガモ コジュケイ キジ キアシシギ
シラコバト キジバト カッコウ ヒバリ
ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒ
ヨドリ モズ ウグイス オオヨシキリ セ
ッカ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ
スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス
ハシブトガラス(26種)リーダーは今年ハ
ッコウを見ていないので心配だった。でも、
やはり出てくれたカッコウ君! 声も飛んでる
姿も十分でした。初夏を表すキアシシギも、
芝川にたくさん姿を見せました。オオヨシキ
リやセッカも、十分声を張り上げ、いつもは
姿を見せないキジやコジュケイも、畑の緑の
中に出現しました。最後に代用水のところで、
ウグイスがいい声を上げて鳴いてくれました。
いつも、三室は良い所だ“大事にしよう”で、
探鳥会は終わりです。(楠見邦博)

5月25~26日(土~日) 長野県戸隠飯綱高原

人 35人 天気 晴一時曇 鳥 アオサギ
トビ ノスリ キジ オオジシギ キジバト
ジュウイチ カッコウ ツツドリ ホトトギ
ス ヨタカ アマツバメ アオゲラ アカゲ
ラ コゲラ ツバメ イワツバメ キセキレ
イ ビンズイ サンショウクイ ヒヨドリ
モズ ミソサザイ コルリ マミジロ トラ
ツグミ クロツグミ アカハラ ウグイス
メボソムシクイ センダイムシクイ キビタ
キ オオルリ エゾビタキ コサメビタキ
エナガ コガラ ヒガラ ヤマガラ シジュ
ウカラ ゴジュウカラ キバシリ メジロ
ホオジロ ノジコ アオジ クロジ カワラ
ヒワ イカル ニュウナイスズメ スズメ
コムクドリ ムクドリ カケス ハシボソガ
ラス ハシブトガラス(56種)ミズナラ、ブ
ナなどの新緑と咲き乱れるミズバショウやニ
リンソウなどの花々、そしてオオルリ、コル
リ、キビタキ、サンショウクイ、オオジシギ

などの夏鳥の声と姿を十二分に楽しんだ充実
の2日間でした。そして、手打ちの戸隠そば
食べ放題、地酒飲み放題。鳥だけでなく、お
腹の方もいっぱいでした。(北川慎一)

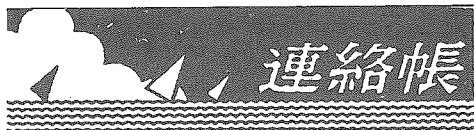
5月26日(日) 上尾市 丸山公園

人 33人 天気 晴 鳥 カイツブリ コサ
ギ オナガガモ オオタカ ツミ コジュケ
イ キジ キジバト カッコウ コゲラ ツ
バメ ヒヨドリ モズ オオヨシキリ オオ
ルリ シジュウカラ メジロ ホオジロ カ
ワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシ
ボソガラス ハシブトガラス(24種)あたり
の緑もすっかり色濃くなった。去年の思いも
かけないサンコウチョウの出現に、今回も!
探鳥会を始めてみると、オオタカ、ツミは初
観察。オオルリは歌声だけだったけれど、予
感が的中。初夏の早朝をみんな楽しんだ。
(乗田実)

6月1~2日(土~日) 栃木県 奥日光

人 30人 天気 曇 鳥 マガモ トビ オ
オタカ ノスリ オオジシギ キジバト カ
ッコウ ツツドリ ホトトギス ヨタカ ア
マツバメ アオゲラ アカゲラ オオアカゲ
ラ コゲラ イワツバメ キセキレイ ハク
セキレイ セグロセキレイ モズ カワガラ
ス ミソサザイ コマドリ コルリ ノビタ
キ アカハラ ヤブサメ ウグイス メボソ
ムシクイ エゾムシクイ センダイムシクイ
キクイタダキ キビタキ オオルリ エナガ
コガラ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ
ゴジュウカラ ホオジロ ホオアカ アオジ
ウソ イカル ニュウナイスズメ スズメ
ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブ
トガラス(51種)参加された入山博さん(春
日部市)から届いた感想文を紹介します。

“雨よ降るな——”と祈りをこめて探鳥会
をスタート! キビタキやアカゲラの姿にみと
れ、ムシクイの声にひかれて、エナガの行列
に微笑んだり、また、夜は親睦会やスライド
映写など行なったりと、新しい鳥との出会い
があり、そして、人との出会いがあり、とて
も思い出深い探鳥会でした。



ツツガムシやスズメバチにご注意

夏はツツガムシやスズメバチなどの被害が多い季節です。

ツツガムシによる発病は年々増加、昨年全国で届け出があったのは941人にのぼり、北本市内では死者も出てしまいました。

アシ原や草むらに入らないようにご注意ください。やむなく入るときは長袖・長ズボンで肌の露出を避け、さらにズボンのすそは靴下の中に折り込んだほうが良いでしょう。草むらで寝転んだりするのは危険です。帰宅したら石けんをたっぷりつけて身体中を洗うこと。万一高熱が出たら、ただちに医師にツツガムシ病の検査をしてもらいましょう。

スズメバチのほうは、巣に近寄らないのが一番。巣から離れたところでも、もし飛んできたら、手を振って追い払おうとするのは大変危険です。じっと動かないほうが良く、ハチが興奮気味のときは、そっとしゃがんで背を低くすると良いそうです。ごくそっと動くのがコツです。

ゴルフ場計画撤回要望

7月11日付埼玉新聞によれば、飯能市と日高町にまたがる日高ゴルフコース(仮称)建設にかんし、高麗丘陵と巾着田を守る会(連絡先:高橋秀行 〒165 東京都中野区野方6-36-9 TEL03-3339-2737)などは、10日、所沢市の西武鉄道本社を訪れ、計画の白紙撤回と自然公園化を要望したが、話し合いは平行線に終わったとのこと。

同コースは135.2ha、18ホール。3月27日に県の立地承認があり、1993年着工、1996年完成を目指しており、ヤマセミやカワセミで有名な巾着田と高麗川の貴重な自然環境に対する影響が、心配されています。

8月の土曜日当番(2時~6時)

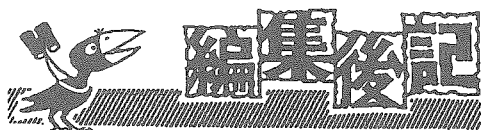
- 3日 中島康夫 内藤義雄
- 10日 諏訪隆久 藤野富代
- 17日 山部直喜 海老原美夫(編集会議)
- 24日 林 滋 角田真喜子
- 31日 袋づめの会(1時から)

会員数は

6月30日現在	合計	1,709人で、
その内訳は	個人特別会員	32人
	正会員	1,140人
	普通会员	162人
	家族会員	358人
	ジュニア会員	17人です。

活動報告

- 6月15日 編集部会議、7月号原稿入稿。
- 6月15日 研究部会議。
- 6月23日 役員会議(司会:福井恒人、VTRを楽しむ企画・ネイチャーフォトコンテスト・蓮田市民祭への参加・2年度事業報告など・総会資料作成・その他)
- 6月30日 総会後の役員会議(司会:海老原美夫、3年度役員による支部長・副支部長・監事の再任)
- 7月1日 7月号郵便局から発送。



最近、昼休みに職場の同じ課の連中とバレーボールをしている。

初めは、バスしあったりしてるだけだったのが、だんだん熱が入ってきて、ついには、周りに線を引き、中央に2m位の高さでビニールひもをはり、試合を始めてしまったのだ。何しろ炎天下、2人対2人でやっているんで、大汗をかいてしまう。これで少しは、腹もひっ込むだろう? (藤原寛治)

『しらこぼと』1991年8月号(第87号) 定価 100円(会員の購読料は会費に含まれます)
 発行人 鈴木忠雄 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 TEL・FAX048(832)4062
 〒336 浦和市岸町4丁目26番8号プリムローズ岸町107号 郵便振替東京9-121130
 印刷 望月印刷株式会社 (本誌掲載記事の無断転載はかたくお断わりします)